

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場会社名 中央三井トラスト・ホールディングス株式会社
 コード番号 8309 URL <http://www.chuomitsuji.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 次長
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東 大 名

(氏名) 田辺 和夫
 (氏名) 鈴木 啓介
 特定取引勘定設置の有無 有

TEL (03)5232-8542

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	316,041	—	7,691	—	9,165	—
20年3月期第3四半期	346,936	9.5	105,285	2.2	63,067	△25.5

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第3四半期	8.40		5.49	
20年3月期第3四半期	66.20		35.14	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
21年3月期第3四半期	14,646,683		781,254		4.0	339.44		
20年3月期	14,472,837		1,019,214		6.0	512.15		

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 593,167百万円 20年3月期 872,898百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
20年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00	
21年3月期	—	0.00	—	—	—	
21年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00	

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注2)上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係が異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、2ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	420,000	△8.5	40,000	△68.1	30,000	△58.2	25.30	

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 1社(社名 CMTF Preferred Capital 7(Cayman) Limited) 除外 1社(社名 MTH Preferred Capital 2(Cayman) Limited)

(注)詳細は、3ページ、4ページの【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ、4ページの【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ、4ページの【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 1,157,551,267株 20年3月期 987,551,267株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 326,762株 20年3月期 280,082株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 1,091,103,554株 20年3月期第3四半期 952,624,112株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・業績予想における「1株当たり当期純利益」は、平成20年7月17日に行った普通株式170,000,000株の売出しの影響を考慮した普通株式の予想期中平均株式数1,107,388,888株をもとに算出しております。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たりの配当金の内訳は以下のとおりです。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
第二種優先株式					
20年3月期	—	0 00	—	14 40	14 40
21年3月期	—	0 00	—		
21年3月期(予想)				14 40	14 40
第三種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0 00	—	20 00	20 00
21年3月期	—	0 00	—		
21年3月期(予想)				20 00	20 00

【 定性的情報・財務諸表等 】

1. 経営成績に関する定性的情報

当期の経済環境を顧みますと、サブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱は、9月には米大手金融機関の経営破綻を契機に世界的な規模の信用不安に拡大し、金融システム全体が重大な危機に直面する状況に至りました。その後、世界的な金融危機が実体経済にも波及し、世界景気、国内景気ともに停滞色を強めました。

金融市場に目を転じますと、短期金利（翌日物コールレート）は、日本銀行の10月、12月の2回にわたる利下げにより、12月下旬以降0.1%近辺に低下しました。長期金利は資源価格高騰によるインフレ懸念を反映して6月中旬には1.8%台に上昇しましたが、国内景気の下振れ懸念が強まるにつれて低下し、当期末には1.1%台となりました。日経平均株価は6月上旬には14,000円台半ばの水準にありましたが、世界的な金融危機と景気悪化懸念から大幅に下落し、当期末には8,000円台となりました。為替市場では、4月上旬の1ドル＝100円台から8月中旬の110円台まで円安・ドル高で推移しましたが、9月以降円高に転じ、当期末には90円台で取引を終えました。

このような経済・金融環境のもと、当グループは、収益性や成長性が高いと見込まれる分野への経営資源の重点配分などを通じ、『収益構造の転換による業務粗利益の拡大にグループ総力を挙げて改めてチャレンジし確実に実現していく』ことをグループの基本方針として掲げました。こうした方針のもと、リテール信託業務、バンキング業務、不動産業務、証券代行業務などを担う中央三井信託銀行と、年金信託業務、証券信託業務などを担う中央三井アセット信託銀行に加えて投資信託委託業務を担う中央三井アセットマネジメント及びプライベートエクイティファンド運営業務を担う中央三井キャピタルなど、グループ内の各社が、さまざまな活動を展開してまいりました。

当第3四半期（累計）の連結ベースの経営成績については、市場環境の低迷などによる銀行子会社の経常収益の伸び悩みや一部保有株式の減損処理などを実施したこともあり、経常利益は前年同期比975億円減少し76億円、四半期純利益は前年同期比539億円減少し91億円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

資産負債の状況につきましては、総資産は期中1,738億円増加して14兆6,466億円、そのうち貸出金は1,587億円増加して8兆107億円、有価証券は938億円減少して4兆5,540億円となりました。また預金は7,147億円増加して8兆8,820億円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結決算の見通しにつきましては、市場環境の低迷などによる銀行子会社の経常収益の伸び悩みや一部保有株式の減損処理などを踏まえ、平成20年10月15日に公表した予想値を修正し、経常収益は4,200億円（前回予想比△100億円）、経常利益は400億円（前回予想比△600億円）、当期純利益は300億円（前回予想比△300億円）を見込んでおります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

CMTH Preferred Capital 7 (Cayman) Limitedは、設立により当第3四半期連結会計期間から連結しております。また、MTH Preferred Capital 2 (Cayman) Limitedは、清算により第1四半期連結会計期間から連結の範囲より除外しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

①減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産については、年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

②貸倒引当金の計上方法

「破綻先」、「実質破綻先」に係る債権等及び「破綻懸念先」で個別の予想損失額を引き当てている債権等以外の債権に対する貸倒引当金につきましては、中間連結会計期間末の予想損失率を適用して計上しております。

③税金費用の計算

法人税等につきましては、年度決算と同様の方法により計算しておりますが、納付税額の算出に係る加減算項目及び税額控除項目は、重要性の高い項目に限定して適用しております。

④繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、一時差異の発生状況等について中間連結会計期間末から大幅な変動がないと認められる場合には、当該中間連結会計期間末の検討において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングの結果を適用しております。

(四半期連結財務諸表作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当ありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号平成18年5月17日)が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度から適用されることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間から同実務対応報告を適用しております。この変更による損益への影響はありません。

③リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号平成19年3月30日)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号同前)が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度から適用されることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間から同会計基準及び適用指針を適用しております。この変更による影響はありません。

なお、リース取引開始日が平成20年4月1日前に開始する連結会計年度に属する所有権移転外ファイナンス・リース取引につきましては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
現金預け金	471,526	212,552
コールローン及び買入手形	75,169	204,862
債券貸借取引支払保証金	43,632	104,003
買入金銭債権	119,196	111,422
特定取引資産	64,688	42,886
金銭の信託	2,492	2,463
有価証券	4,554,071	4,647,960
貸出金	8,010,791	7,852,066
外国為替	749	811
その他資産	438,287	427,978
有形固定資産	128,795	132,794
無形固定資産	59,194	73,499
繰延税金資産	227,013	144,995
支払承諾見返	509,258	584,076
貸倒引当金	△58,182	△69,535
資産の部合計	14,646,683	14,472,837
負債の部		
預金	8,882,027	8,167,248
譲渡性預金	416,710	663,340
コールマネー及び売渡手形	444,491	291,581
売現先勘定	—	24,197
債券貸借取引受入担保金	1,100,123	1,797,121
特定取引負債	7,172	8,185
借入金	1,152,754	474,369
外国為替	42	10
社債	168,475	176,261
信託勘定借	938,087	1,051,839
その他負債	228,918	188,125
賞与引当金	9	3,260
退職給付引当金	2,365	2,262
役員退職慰労引当金	1,468	1,301
偶発損失引当金	13,175	12,859
繰延税金負債	349	7,580
支払承諾	509,258	584,076
負債の部合計	13,865,429	13,453,622

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
資本金	261,608	261,608
資本剰余金	—	127,347
利益剰余金	439,826	441,646
自己株式	△271	△261
株主資本合計	701,164	830,340
その他有価証券評価差額金	△94,504	57,239
繰延ヘッジ損益	2,960	917
土地再評価差額金	△15,532	△15,532
為替換算調整勘定	△920	△66
評価・換算差額等合計	△107,997	42,557
少数株主持分	188,087	146,316
純資産の部合計	781,254	1,019,214
負債及び純資産の部合計	14,646,683	14,472,837

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
経常収益	316,041
信託報酬	43,959
資金運用収益	160,881
(うち貸出金利息)	93,565
(うち有価証券利息配当金)	64,143
役務取引等収益	71,854
特定取引収益	2,095
その他業務収益	13,694
その他経常収益	23,557
経常費用	308,349
資金調達費用	76,389
(うち預金利息)	34,884
役務取引等費用	8,659
その他業務費用	7,798
営業経費	115,672
その他経常費用	99,829
経常利益	7,691
特別利益	11,311
貸倒引当金戻入益	8,782
償却債権取立益	2,239
その他の特別利益	289
特別損失	1,050
固定資産処分損	936
その他の特別損失	113
税金等調整前四半期純利益	17,953
法人税、住民税及び事業税	7,381
法人税等調整額	△2,561
法人税等合計	4,820
少数株主利益	3,967
四半期純利益	9,165

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
該当ありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	261,608	127,347	441,646	△ 261	830,340
当第3四半期連結会計期間末までの変動額					
剰余金の配当			△ 10,926		△ 10,926
四半期純利益			9,165		9,165
自己株式の取得 ※				△ 127,436	△ 127,436
自己株式の消却 ※		△ 127,327	△ 58	127,386	—
自己株式の処分		△ 19		41	21
当第3四半期連結会計期間末までの変動額合計	—	△ 127,347	△ 1,819	△ 9	△ 129,176
当第3四半期連結会計期間末残高	261,608	—	439,826	△ 271	701,164

※ 平成20年7月に当社優先株式の取得、消去を行いました。

「参考」

【四半期連結損益計算書】

【前第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
経常収益	346,936
信託報酬	50,450
資金運用収益	155,396
(うち貸出金利息)	(86,205)
(うち有価証券利息配当金)	(63,270)
役務取引等収益	95,328
特定取引収益	1,473
その他業務収益	7,819
その他経常収益	36,467
経常費用	241,651
資金調達費用	74,099
(うち預金利息)	(29,441)
役務取引等費用	11,008
その他業務費用	3,822
営業経費	105,064
その他経常費用	47,655
経常利益	105,285
特別利益	5,354
特別損失	540
税金等調整前四半期純利益	110,099
法人税、住民税及び事業税	10,889
法人税等調整額	31,935
少数株主利益	4,206
四半期純利益	63,067